

広報 ごじようめ

発行 五城目町役場 ☎01885②2100 (代)
☎018-17
秋田県五城目町高崎字雀館下川原64の4
編集 文書広報課
印刷 湖東印刷所 ☎01885②2430
毎月1日・15日発行 一部 35円



9月9日から稲刈りを始めた恋地の佐々木さん

秋 つ れ づ れ

心配な稲作

秋は、五穀がみのり、大気の澄んだ季節であり、また、めぐる山々が錦を織りなした人々の目を楽しませ、収穫の喜びにひたれる時期でもある。が、今年のでき秋はどうだろうか。

収穫の喜びを味わう最たるものに農家がある。総体的にみて、昨年の冷害ほどではないにしても、なんのてらいもなくその喜びにひたることができないような材料が多い。

六〇キロ（一表）当り六〇円アップの米価をはじめ八月二十三日の台風十五号の強烈なパンチ、予想の域を出ないが、この被害は意外に大きいのではないかとみられている。白葉枯病、白穂、褐色穂葉の先割れ、いろいろな形で被害が出ている。収量や品質に大きな影響がなければと心配されるところである。あとは好天の長いことを期待し、稔実の歩合が少しでも高くなることを願うのみである。この町の経済にとって農家経済の落ち込みが、商業活動にもすこぶる影響が大きいとみられるからである。

目にはさやかに見えねども

明月や畳の上に松の影（其角）

明月や取ってくれろと泣く子かな（一茶）、九月十二日の夜は中秋の名月をみることでできなかった。このころの天気は、過去の記録をみても曇りか雨が多くの俳句には、無月・雨月という題があるほどだという。「秋米ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞ驚かれぬる」（藤原敏行）の歌がある。

今日からは秋であるという確実な区切りは目に見えないが、風の音などでそれを知ることができ、その驚きの心情を見事に歌いあげている。

私たちの詩情がそれほど豊かではないにしても、市日に出まわる果実、山のきのこ、とりどりの花の色で秋の訪れを知らせてくれる。

市場をこの町の人々で

市日といえば、琴丘町から二十年ほど毎市農産物を売りにきておばさんがいる。いわく「この町の農家のみなさんは、この市日を利用して農産物を売ることにあまり熱心ではないようだ。生産調整が始まったので、よそ者が入り込む余地はないと思っていたが、それほどでもないのだからいいかと思っている」

目に見えないアップバーをくらった。よくみると、この市場には他町村の売り子が多いようだ。これはまたよくよく考えねばならないことである。

一人当たり百二十一万余円

五十三年度町民所得

町は五十三年度町民所得の推計をまとめた。それによると町内純生産は第一次産業が減少したものの、第二次、第三次産業が一〇割の伸びを示したため、全体で百八十九億七千万円と前年度に比べ七・三割伸びた。

町民分配所得は労働や資本によって得た賃金や配当であるが、これも三・三割の伸びとなった。一人当たり町民所得は百二十一万四千円と、県の一人当たり分配所得に対し、本町は一〇三・六割で五十一年度からはいずれも上回っている。

農業所得の低下

五十三年度の町内純生産は前年度より二億九千万円増え、七・三割の伸びとなったが、これは県の五十三年度の伸び率を三・九ポイント上回るものである。

産業別では、第一次産業が前年度比八・三割のマイナス。なかでも農業は、米価の横ばい、水田利

用再編対策による減反で、冷害の五十一年度並に落ち込んだ。林業は立木の生産量が前年を下回ったために二・三割の伸びにとどまった。

好調に伸びた各業種

第二次産業は順調に伸びた。製

増加したほか、建設業が公共事業を中心に、建築・土木とも活発で前年度一二・九割の大幅な落ち込みを回復した。

第三次産業は、前年度に金融・保険・不動産業と電気・ガス・水道業が落ち込んだが、五十三年度は各業種ともに伸び、全体の伸び率も前年度〇・三から一〇・〇割と大幅に上回った。

産業別の構成比は第一次産業が低下、第二次、第三次産業が上昇した。第一次産業の一五・七割は過去最低で、とくに農業は一〇割を割ったが、これは県の農業の構成比一一・八割を下回るものである。第三次産業は過去最高で年々増え続け、産業構成は都市化の傾向を強めている。

町民分配所得は百九十六億六千万円で、次年度には二百億円台になると見込まれる。分配所得の六割を占める雇用者所得が八・六割と伸び、百二十三億四千万円となった。財産所得は金利の引き下げ

で利子所得が減ったため、二・〇割の伸びにとどまった。企業所得は民間法人企業、公的企業ともに大幅な減少であった。

県を上回る所得

この結果、町民一人当たりの分配所得は県の平均を上回っているが、県内で住民所得推計をしているのは五十町程度なので、ど

れくらいに位置するかは推定できない。町民分配所得が町内純生産を上回って、さらにその割合が五十二年度より増えているが、これは他から持ち入れる所得が、本町から持ち出される所得より多いということ、町民の他市町村就業が前年より上回っているといえる。

国保の窓

高額療養費の支給について

(1)

ひとりの被保険者がお医者さんにかかって、一つの病院に一月に三万九千円以上の自己負担額を支払った場合は、その三万九千円をこえた額は、全額国保が負担して支給します。これを、高額療養費支給制度といいます。つまり被保険者の医療費の自己負担は、三万九千円までということなんです。

しかし、これについては、次のようないろいろの条件がついています。

①同一月の一日から月末までの受診について一カ月として、計算します。

②医療機関ごとに計算します。

③同じ病院でも内科と歯科がある場合、または総合病院の各診療科は、別々の医療機関とみなして計算します。

ただし、総合病院の入院患者が他の科の診療を受けたときは合算して計算されます(そのときでも歯科は別です)。

④入院と通院は、同じ病院、診療所でも別計算です。

⑤保険診療の対象とならない、入院したときの差額ベッド代や基準看護の病院に入院したときのつきそいの看護料、または歯科での自由診療や材料差額診療などの保険診療外のものは、対象になりません。つまり歯科治療の場合は、ほとんど該当しないことになります。

(支給の手続きと時期については、次号で)

産業別町内純生産

産 業 別	区 分	昭 和 53 年 度		
		所 得 額	構 成 比	伸 び 率
町 内 純 生 産		18,973,601 ^{千円}	100.0 [%]	107.3 [%]
第 一 次 産 業		2,978,697	15.7	91.7
	農 業	1,857,185	9.8	86.3
	林 業	1,121,512	5.9	102.3
第 二 次 産 業		5,081,238	26.8	112.6
	鉱 業	209,122	1.1	140.2
	建 設 業	1,910,746	10.1	106.4
	製 造 業	2,961,370	15.6	115.3
第 三 次 産 業		10,913,666	57.6	110.0
	卸、小売業	2,948,756	15.5	100.8
	金融保険不動産	1,886,817	9.9	116.3
	運 輸、通 信	1,318,188	6.9	117.4
	電、ガス、水道	114,328	0.6	128.9
	サ ー ビ ス 業	3,621,746	19.1	113.0
	公 務	1,023,831	5.4	107.2

町内純生産と分配所得の県比較

区 分		年 度					前年比 53/52	
		昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度		
純 生 産 (百万円)	県	1,045,090	1,158,978	1,282,693	1,399,950	1,447,725	103.4%	
	町	13,617	14,282	17,250	17,679	18,974	107.3	
分 配 所 得 (百万円)	県	1,033,403	1,136,925	1,251,279	1,385,302	1,461,338	105.5	
	町	13,941	14,669	16,750	19,027	19,664	103.3	
住民一人当り	純 生 産 (千円)	県	851	940	1,036	1,126	1,161	103.1
		町	813	861	1,051	1,083	1,171	108.1
	分 配 所 得 (千円)	県	842	922	1,010	1,114	1,172	105.2
		町	832	885	1,020	1,165	1,214	104.2
対県比率 (町/県)	純 生 産	95.5	91.6	101.4	96.2	100.9		
	分 配 所 得	98.8	96.0	101.0	104.6	103.6		

都市計画道路

追加・変更の説明会

町では、都市計画道路の追加と変更について、次の日程で説明会を開きます。将来の町造りに対する建設的なご意見をお聞かせください。都合が悪くて最寄りの会場に出席できない場合は、他の会場においてください。

都市計画道路の追加と変更は、新しい都市計画を再検討し、本町における合理的な土地利用を考慮しながら、激増する交通需用に対応できるようにしたものです。計画案は下の図面のとおりです。都市計画区域外にお住まいの方でも、当該地域内の土地や建物などに権利がある方もおおと思います。町では、これらの人たちに對して個人毎に説明会の通知をさしあげた場合、通知もれの恐れもある

▽日程

- 9月24日 午後7時 上樋口公民館（上樋口）
- 9月25日 午後7時 西野公民館（西野）
- 9月28日 午後7時 岡本二区公民館（岡本）
- 9月29日 午後7時 おせど会館（五城目）
- 9月30日 午後7時 下山内公民館（下山内）
- 10月1日 午後7時 町民センター（全町）

青年の主張全国コンクール

原稿はNHK秋田局へ

NHKでは、全国各地の青年が意見発表を行う「NHK青年の主張全国コンクール」の出場者を募集しています。

今年の課題は「いま学園（職場）から訴える」「わたしの挑戦」「ひとつの出会い」「同世代への提言」「国際社会と青年」の五つです。

出場ご希望の方は、課題の中から一つを選び、五分以内で意見を

発表できるよう四百字詰原稿用紙四枚程度にまとめたものを、十月二十三日までにNHKへお送りください。参加資格は、昭和三十一年一月十六日から昭和四十一年四月一日までに生まれた方で、性別職業、学歴および国籍は問いません。

▽原稿の送付先・問合せ先

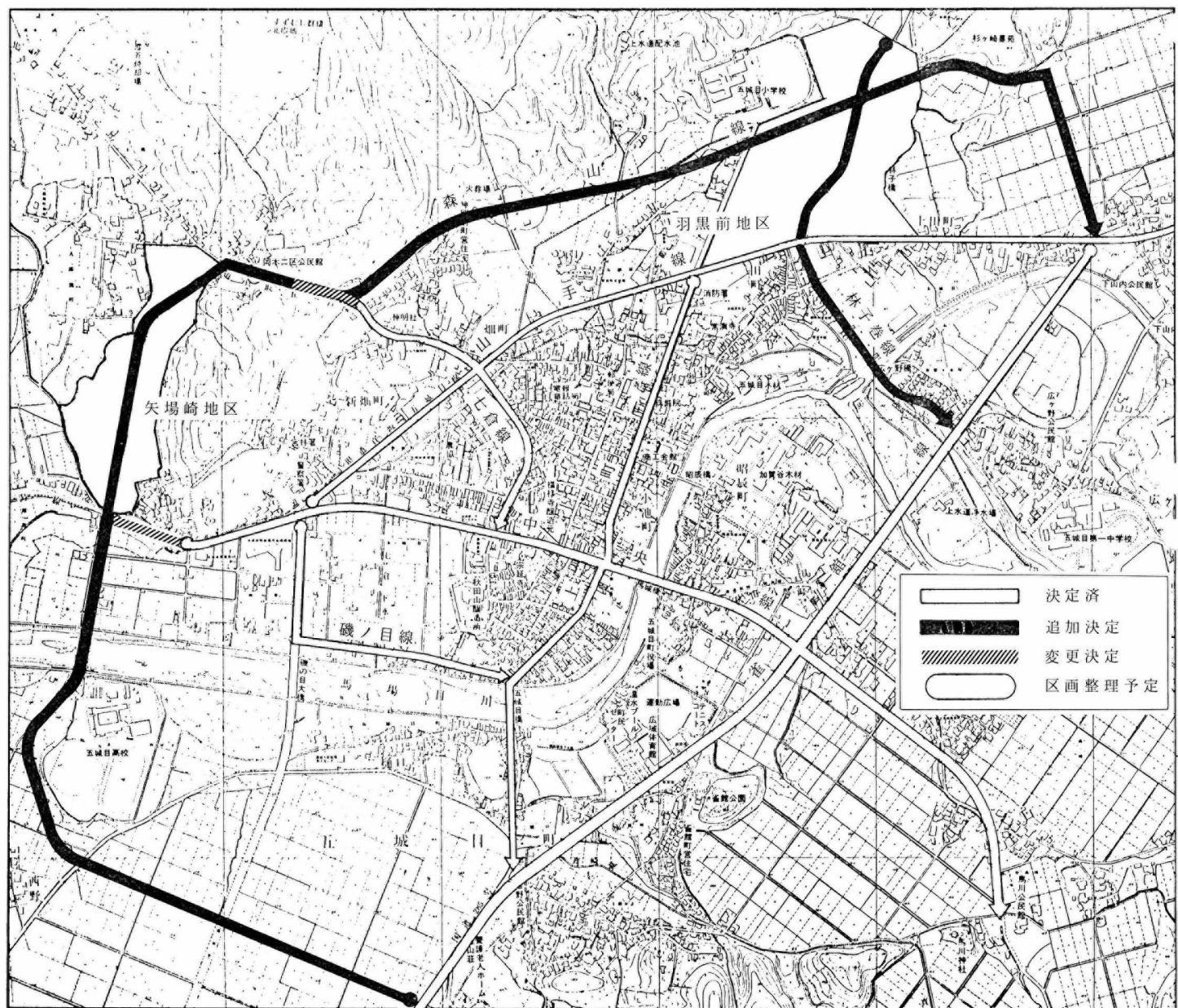
〒010

秋田市山王一〇一〇二

NHK秋田放送局

「青年の主張」係

電話0188-2315411



五城目都市計画・街路網図

農作業協定賃金に協力を

五城目町農業委員会では、昭和56年秋期農作業の賃金と料金を次のように決めましたので、ご協力をお願いします。

昭和56年秋期農作業協定賃金および料金表

作業名		金額	備考
稲刈り	人手	4,500円	1日当り
	男女	4,300	
	男女共	55	束当り
	整未	7,200	10a当り
	整未	7,600	(糸持ち、刈取りだけ)
	コンバイン	15,100	10a当り(運搬含む)
脱穀	整未	15,600	10a当り(運搬含む)
	整未	6,600	
乾燥	整未	7,100	
	整未	680	
雑・畑作業	整未	460	
	整未	560	
雑・畑作業	男女	4,500	1日当り
	男女	4,300	

- ・1日8時間労働標準略なし
- ・使用農機具には運転手付きとする。

役場職員の採用試験

高校卒

五城目町職員採用試験(高校卒)が、次の要領で行われます。試験についての問合せは役場庶務課(電話2-2100)へお願いします。

▽採用予定人員

一般事務職員 男子 三名

▽受験資格

五城目町に居住し、通勤可能な者で次の①の資格を有し、②の欠格事項のいずれにも該当しない者。

①学校教育法による高等学校または短期大学(国立工専を含む)を昭和五十三年三月以降に卒業した者および昭和五十七年三月卒業見込みの者。

▽試験方法

試験は第一次試験、第二次試験および身上調査とし、第二次試験は第一次試験の合格者に対してのみ行います。

①第一次試験
教養試験：高等学校卒業程度の一般的知識、知能について筆記試験を行う

②第一次試験
口述試験：個別面接により主として人物について
作文：主として文章表現力等について
身体検査：職務執行に必要な健康度の有無について
身上調査：受験資格の有無および申込書記載事項の真否について
その他：毛筆で自筆の履歴書を作成させる

▽試験日および場所

・第一次試験

昭和56年11月8日(日)
午前10時～正午
(受付開始午前9時)

・第二次試験

(秋田市茨島1丁目4の2)

・第三次試験

昭和56年12月中
五城目町役場または
町民センター

▽合格者発表

・第一次試験

12月中旬に役場前掲示板に掲示するほか合格者に通知します。

・第二次試験

昭和57年1月末日までに役場前掲示板に掲示するほか合格者に通知します。

▽受験手続および受付時間

①申込用紙の請求および申込先
五城目町役場庶務課に請求および申込みをしてください。郵

便で請求する場合は封筒の表に「職員採用試験(高校卒)申込用紙請求」と朱書きし、宛名を明記して60円切手をはった返信用封筒を必ず同封してください。

②受付期間

昭和56年10月1日から10月17日まで。申込みは平日は午後4時半、土曜日は正午まで。
郵便の場合は10月16日まで着信のものに限り受付します。

③提出書類

- ・申込書 一部
(所定の用紙を使用し、自筆であること)
- ・成績証明書 一部
- ・受験料 不要
- ▽その他
- ・申込みを受理された受験者には受験票を交付します。
- ・受験票には最近撮影した上半身、脱帽、正面向、縦6cm、横4.5cmの写真一葉をはって第一次試験当日持参してください。(写真のない場合は受験できません)

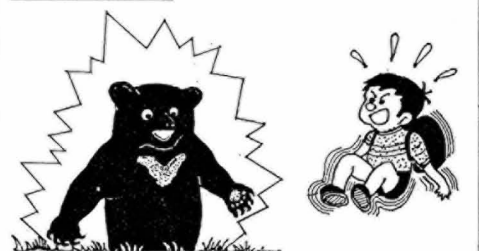
発明・工夫を お寄せください

町と五城目町商工会では、五城目町発明工夫展を開くため、町内のみなさんの発明、工夫を募集しています。

作品は、十月末に予定されている第六回五城目町産業文化祭に展示されます。アイデアあふれた作品をお寄せください。作品は、原物でなくても、図解説明によるものでもかまいません。詳細については、五城目町商工会(電話2-3460)へ。

クマに注意!!

今年もクマが異常に出没しつつあります。
ピクニックやキノコとり・クリひろいなどには十分に注意してください。



クマの被害防止法

- ・二人以上で入山すること。
 - ・ラジオや笛などで音を出しながら入山すること。
 - ・子グマのそばには親グマがいるので絶対近よらないこと。
- なお、山には食べものなどをすててこないようにしましょう。

和裁を習いませんか

～対象は母子・寡婦家庭～

①参加資格
五城目町在住者で、特許、実用新案、意匠を出願中のもの、または未出願のもの

②児童生徒
五城目町にある高校、中学校、小学校などの在校生であること

▽出品内容
①一般
・実用的な考案品、創意工夫品、廃品活用の創造的なもの
・枝打材、製材木工などによる廃材利用アイデア品
・土産品、玩具などの新製品

②児童生徒
(一般の出品内容のほかに)
・未来を夢みる科学の絵画
・紙、木などをつくるアイデア作品
・日常の学校生活に利用できる不便解消のアイデア作品

▽授業日

毎週土曜日午後一時三十分～三時三十分

▽場所

秋田県母子福祉センター和室
秋田市手形住吉町四二六

▽対象

母子・寡婦家庭の母または子女

▽申込先

五城目町社会福祉協議会
電話2-2100

除伐ナタ引合い多く

— 鍛冶協同組合の開発作品好評 —

県外からも要請

各地からの引き合いも多く、六百丁ほど生産している。

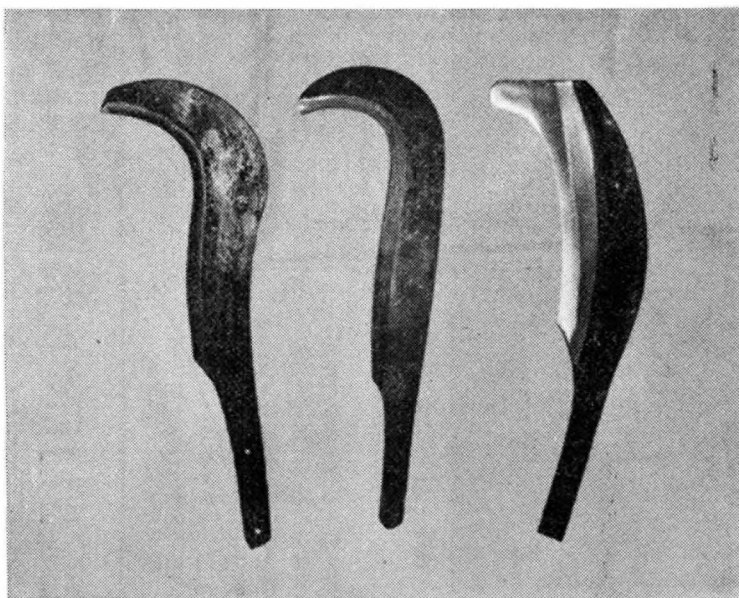
山の仲間たちから好評

五城目鍛冶協同組合（理事長小玉正太郎）では、四～五年前から上小阿仁管林署の作業員とタイアップして、除伐ナタの開発をしてきたところであるが、昨年よりやぐ本格的な製品に仕上げ、秋田管林局に千丁納めている。

そのほか大坂管林局や青森管林局などに納め、岩手県和賀郡沢内村で、使用方法の研修会を開いている。その影響もあってか、東北

この除伐ナタは、普通のナタより柄が長く行動範囲が広がるため、従来、鎌を使用しての作業よりは非常に能率アップされるので、山の仲間たちから好評を得ているところである。

このあと、五城目鍛冶の目玉商品として、全国的に普及されることが期待される。



組合が開発した除伐ナタ(右)と弘前(中)、青森(左)で使用しているナタ

青森を訪れ除伐ナタを比較

組合員たちは、九月三日、四日青森市と弘前市の管林署を訪れ、新製品の説明会を開いた。その際、除伐している現地で足を運び、作業員の使用している除伐ナタと自分たちの製品を比較してきた。組合員たちは「青森では除伐する雑木が細いので、そんなに違いが見られなかったが、太い雑木の場合は自分たちの製品がよい」と自信を持っていた。また「青森のナタは両刃であり、刃が逃げるので切りにくい」とも話していた。さらに、柄の断面が円形である

ので、刃の角度を一定にしてナタを振るのに都合が悪いと指摘していた。組合員のはだ円形をしている。ナタの重さは五百グラムから五百五十グラムで百グラムほど軽い。柄の重さを加えると、そんなに差がなかったそうである。ただこのような道具は、地形や雑木の種類などによって、条件が違ってくるので、一概にはいえないとのことだった。

組合員たちは、さっそく青森と弘前の管林署が使用していたナタをもとに、試作品を作り検討している。

税務情報

九月は、固定資産税(三期)国民健康保険税(二期)の納期です。納期内納付にご協力ください。

「町税のしくみ」をお知らせします。

◎固定資産税

①納税義務者

固定資産税は、毎年一月一日現在で固定資産(土地、家屋、償却資産)を所有している人が納付することになります。この場合の所有者とは固定資産の課税台帳等に所有者として登録された者をいいます。具体的には

①土地については、土地登記簿または土地補充課税台帳に

②家屋については、建物登記簿または家屋補充課税台帳に

③償却資産については、償却資産課税台帳に

所有者として登記または登録されている人をいいます。

②税額の計算法

固定資産の価格(課税標準額)に一・四パーセントを乗ずる。

③価格の決め方

課税の基礎となる価格は、固定資産評価基準によって価格を決定したあと固定資産課税台帳に登録され、通常三月一日から二十日まで縦覧されたのち確定します。

④評価額

固定資産税の基礎となる価格(評価額)は、土地、家屋は三年に一度、償却資産は毎年「適正な時価」により評定して台帳に登録します。土地、家屋の評価替えは、昭和五十四年度に行われ、次は五十七年度です。

◎国民健康保険税

①納税義務者

市町村が実施する国民健康保険事業の経費に充てるために、国民

特産品のアイデア募集

県と県物産振興協議会では、秋田県特産品デザイン開発コンクール作品を一般から募集します。

▽種別

- ①観光土産品(人形、玩具、装飾品)
- ②民芸品(家具を除く木竹工芸品)
- ③食料品(酒類を含む)
- ④金属工芸品
- ⑤陶器
- ⑥各部門のパッケージデザイン

・応募作品は応募者自身の創造品に限りません。
・応募資格は個人、企業およびグループを問いません。
・特許・意匠登録などの認定済のものおよび同申請中のものは除かれます。
・作品は現物または図面として、応募点数に制限はありません。
▽募集期間
9月1日～11月20日(当日消印有効)

▽作品の提出先

秋田市山王四丁目一―一
秋田県観光物産課
電話0188(60)1703

健康保険の被保険者たる世帯主が納付することになります。

世帯主が国民健康保険の被保険者でなくても、世帯の中に国民健康保険の被保険者たる世帯員がいる場合も世帯主が納税義務者となります。

②課税標準額

国民健康保険税は、地方税として位置づけされていますが、本質的には国民健康保険料であるといえます。したがって、その課税の方法も他の地方税と異なる方式によって行われ、当該年度の初日における療養の給付および療養費の支給に要する費用の見込総額から療養給付についての一部負担金の総額を控除した額の六十五パーセントに相当する額をそれぞれの納税義務者に按分することとされており、この按分される総額が国民健康保険税の課税総額であります。

③課税額の算定方法

国民健康保険が相互扶助を基本

として、いることから課税には、応能、応益原則を採り入れることになっており、応能原則に基づく所得割と資産割、応益原則に基づく被保険者均等割と世帯別平等割で構成され、その合算額により算定されます。

(イ)所得割額

総所得金額から町民税所得割の基礎控除のみを控除した後の金額の合計額に按分して算定する。

(ロ)資産割額

固定資産税のうち、土地、家屋にかかる部分の額に按分して算定する。

(ハ)被保険者均等割額

被保険者均等割総額を被保険者の総数で除して算定する。

(ニ)世帯別平等割

世帯別平等割総額を国民健康保険加入世帯数で除して算定する。

※次回は、町民税、軽自動車税について掲載する予定です。

全町盆踊り

西野・農協ともに二連覇

全町盆踊りは、八月二十七日、二十八日、雀館線を会場にして行われ、町内対抗の部で西野チームが、職場団体で五城目農協チームが、それぞれ昨年に続いて優勝した。

町内対抗が行われた二十八日には、四十七の町内会から千四十一人が参加した。それに個人の踊り

▽町内対抗
①西野 みのり音頭



町内対抗連続優勝した
みのり音頭の西野チーム

- ②中村 薬師踊り
- ③下山内 国際障害者年
- ④上山内 花嫁のしあわせ
- ⑤黒土 鈴虫の里
- ⑥田町 鐘つき若衆
- ⑦岩野 野鳥の森のコンパニオン
- ⑧浦横町 アイヌ祭り
- ⑨帝釈寺 ダイアナ妃
- ⑩昭辰町 滝の白糸
- ▽職場団体
- ①農協 大黒舞
- ②東京縫製 イトマンおけさ
- ③役場 五城目おばこ
- 努力賞 信用金庫 信金娘
- 湖東病院 湖東若衆
- ▽青年団体
- ①内川青年会 おとぎ話
- ②大川青年会 大川若衆
- ③上樋口青年会 努力賞 土曜会 農近ゼミナール

町内対抗相撲

中川原チームが優勝

町内対抗相撲大会は、八月十六

日、運動広場の相撲場で、二十チームが参加して行われた。予選リーグの上位八チームで決勝トーナメントを行った結果、中川原チームが優勝した。

▽決勝トーナメント一回戦

平ノ下 4-1 中村
上高崎 4-1 上山内
中川原 3-2 谷地中

国的重要な仕事の一つに社会福祉があり、お年寄りや心身障害者など社会的、経済的に弱い立場にある人に対して、いろいろな施策を行っていますが、税金の面でもいろいろな特典を設けています。

△お年寄り本人が
受けられる特典▽

お年寄りや障害者と税金

国税だより

年齢が六十五歳以上で、所得が一千万円以下のお年寄りは、①高齢者控除として所得金額から二十三万円が差引かれます。

②国民年金や厚生年金などの公的年金や恩給を受けている人は、高齢者年金特別控除として、これらの収入金額から七十八万円を差引くことができます。

このほかお年寄りを扶養している人が受けられる特典などもあります。

▽同準決勝
西野 3-2 岩野
上高崎 3-2 平ノ下
中川原 3-2 西野

▽同決勝
中川原 3-2 上高崎

▽同三位決定戦
西野 3-2 平ノ下

毎日新聞の奨学生制度

毎日新聞社では、首都圏への進学希望者に対し、毎年高騰する学費に対処し、父兄・学生の負担をいくらかでも軽くするため、奨学生制度を設けています。

私立文科系の大学へ進学しますと四年間で、生活費と学費を合わせて約七百万円、専修学校は二年間で約四百万円もの費用がかかります。この制度は毎日新聞販売所に勤務することにより、学費の貸与のほか、奨学金の支給、生活費の一切を保証するものです。

今、来年度の奨学生を募集しています。詳しい内容を知りたい方は、ハガキに住所、氏名、高校、

△自衛隊を見学して▽

このたび、弘前市に駐屯する自衛隊を見学する機会に恵まれました。弘前市はかつてわが「秋田十七聯隊」の上級司令部が所在した土地柄だけあって、史料館には日露戦争当時の黒溝台会戦をはじめ、郷土部隊が活躍した数多くの史料が展示されており、防人先人の偉功を偲ぶことができました。

現在、弘前には「連隊」が駐屯しており、隊員の大部分は青森県出身者なのですが、秋田県出

防人先人の偉功を偲ぶ

自衛隊父兄会五城目支部

佐々木 憲 夫

和と独立を守るため、国をあげて努力している姿が紹介されましたが、今更ながら欧米人と日本人の平和に対する考え方の違いに驚きを覚えました。欧米では、平和を

守るためには絶えず外部の状況変化に対応した防衛努力が必要であるという考え方に、日本では平和が現状であり、外部の状況変化と無関係に平和を守れるという

りましたが、今や英、仏、西独を抜いて世界のGNPの十割という経済大国に成長しました。我々は将来とも軍事大国になつては困るしあるべきではないが、自分の国は自分で守るという意識については、経済小国である北歐を見習うべきではないでしょうか。

防衛の第一線で黙々訓練に励んでいる弘前部隊を見学しながら考えさせられました。

☆ ☆

たばこ消費税は
暮らしの中に
生かされています。



●たばこは地元で買ひましょう。

電話番号を記入し、次のところへ
申込んでください。

〒一〇六
東京都新宿区大久保3-14-4
毎日新聞社早稲田別館
毎日育英会K係
電03(208)1171

電03(208)1171

広報文芸



川柳 すずむし 八月号

毒舌へ僕も同じ意見持ち
右に父左に母の手にひかれ
雑草の小さく咲いた自己主張
サクラまで居るとは知らぬ落し穴
よく聞けばお互い様と言った罪
サルビアの朱からはじまる非行歴
引き算を知らぬおんなの虚栄心
土といるこの幸せを逃がすまい
揺れながら廻る日もある夫婦独楽
友情の笛は照る日も曇る日も
逢いたさの胸三寸に釘を打つ
定年の画布塗り変える妻の視野
炎にも水にも変る女の目
諦めも入れて鏡に嘘を塗る
夏休み暑さ集めて孫が来る
中年が渡れば揺れる虹の橋
許せない妥協に十指開かない
くたびれた千円札が見た世相
切り札を積む裏門は開けておく
つまずいた石が教えてくれた道
振り向けば不覚であった傷のあと
過去はもう追まじ未練あるばかり
夫婦にも裏と表の使い分け
母の背を越した娘の浴衣縫う

荒川祥一郎
渡辺 松風
柴田 銀河
今野 一城
荒川紫陽花
猿田 寒坊
渡辺 銀雨
草皆 チェ
松田ウタ子
藤原 文
細田 陽炎
鍋谷 福枝
柴 みつ
渡部 姚子
納谷 喜代
佐藤 貞
佐藤 はる江
福島 ミツ
一関 北柳
八木下みき
平川みつえ
本庄 湖水
佐々木敏子
小玉 光子

俳句 黛吟社 七月例会

指輪なき指泳がせて浴衣ぬう
子等の靴脱ぎ乱れたる梅雨の土間
夏やせて言葉還らぬ夫の癖
水垢に染りし指や田草取り
半夏生小亀小石の如く生き
海の苔果なし夏帽胸に据え
螢火や田水を守る夫一人

沢田石和子
三浦 緑葉
猿田 天鳴
石井 溪堂
小松 孤松
安田 龍泉
草皆 茂樹

夏帽の軽く掌にあり旅に出る
かたつむり家を背負うて一人旅
瀑音をばじくが如し閑古鳥
涼しさを帯にも集め夏衣
惑わずに牡丹を剪るや雨の朝
夏雲や高山の頂はなれけり
浴衣着る少女の乳房や高からず
青桐やピアノオルガン隣家たり
鉄砲百合密吸う蜂のうなりかな
遠き子を思案の刻や夏の果
掛声で草刈る真似や地鎮祭

田中 芳朗
佐藤 羊村
伊藤 正蔵
小林 与根
北島 耕子
斉藤 諒一
石井 進
本間 米吉
伊藤 碧山
伊藤 芳穂
北島 温石

婦人会川柳クラブ 八月例会

働いて帰れば妻の酌が待つ
淋しさは言わず夜長のペンを持つ
嫁がせる淋しさ夜長針を持つ
眠られぬ夜長に妄想わいてくる
嫁や娘と語れば秋の夜も短か
もりもりと食って嫁の腹目立つ
子の熱へ夜半の時計は進まない
食欲の秋が絵になる家族の輪
秋めけば動き始める腹の虫
食欲の秋へバンドの穴を変え
胃袋が二つ欲しい成長期
食欲の秋へ余分な米をとぐ
夏バテの話の笑い秋を食う
食欲の秋へ悩みの適令期

佐々木敏子
松田ウタ子
草皆 チェ
佐藤 貞
福島 ミツ
伊藤 キミ
渡辺 銀雨
藤原 文
一関 北柳
納谷 喜代
八木下みき
佐藤 はる江
平川みつえ
鍋谷 福枝

館町川柳たのしみ会例会

題 「のん気」

日曜日椅子の重荷となる香氣
ぶらぶらと定年無風の街を行く
のんきに見えてがっぽり儲けてる
縮め切りの期限へベンがころけてる
年金と孫と香氣に老の春
気をあせるママ三浪はマン画読み
老夫婦あくびしながら足る会話
春の日を財布に持たれて遊んでる
日曜の昼のステテコ画布という

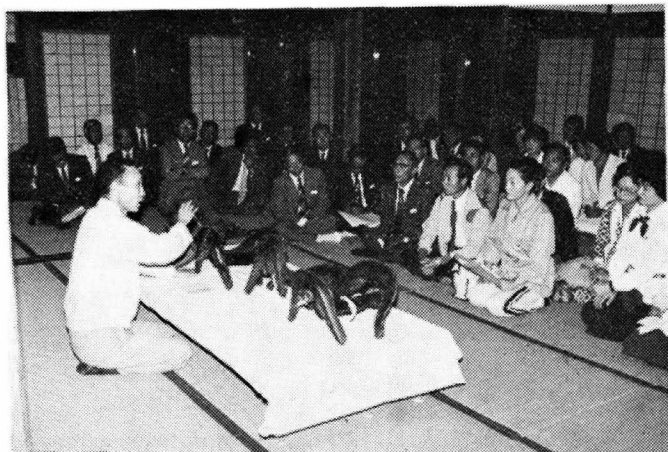
伊藤 酒泉
本間 酒好
長沢 山女
加藤 円心
細田 陽炎
本間 玉女
長沢 仙里
石川 富司

カメラリポート

お父さんが見にきた

大川保育園の父親参観日

八月三十日は大川保育園の父親参観日でした。当日はあいにくの雨でしたが、保育園が移転新築して初めての父親参観日とあって、ほとんどのお父さんが出席しました。お父さんたちの中には、遠慮して教室の中に入らないで、廊下からぞいている人もいました。あるクラスでは、お父さんとの相撲が行われましたが、はずかしいらしく子供に手を引かれるとあわてていました。中には教室をどびだすお父さんもいて、大笑いになりました。また別のクラスでは、お父さんの顔を写生しましたが、自分の子供にみつめられて、ちょっと緊張しているようでした。お父さんたちは「先生方は、まだ小さい子供たちをよく指導しているなあ」と感心していました。また当日は、午前十一時から加賀谷町長が「北欧をかいて見せて」と題して、約一時間講話しました。

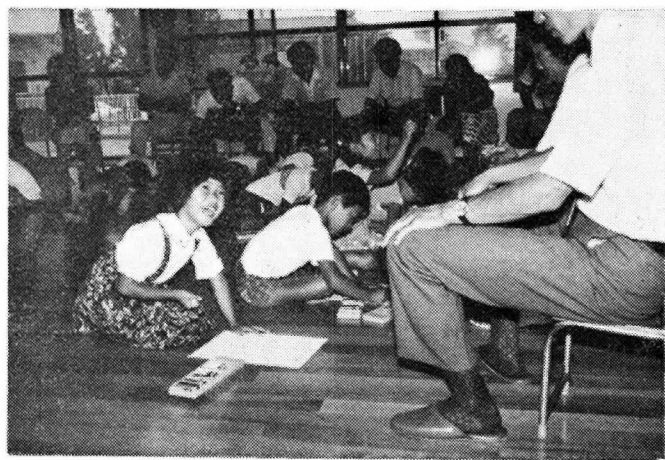


円通寺で小野先生の説明を聞く

先生たちが町内めぐり

250人が参加し教育振興大会

五城目町教育振興大会は、九月三日、町内の保育所、幼稚園、小中学校の先生たちと、教育委員、PTA役員などの教育関係者約二百五十人が参加して行われました。参加者は、社会コースと歴史コースの二班に分かれ、バスで町内の施設や工場、史跡、文化財めぐりを行いました。朝九時に広域体育館を四台のバスで出発、約六時間の移動研修でした。社会コースは、醸造元や繊維工場、木材工場などを、歴史コースは、岩野山や石崎遺跡、円通寺、広徳寺などを訪れました。参加者のほとんどが、初めて見学するらしく、町を知るうえで有意義な研修であったと好評でした。ただ、当日はあいにくの雨で、実際に現場を訪れることができなかった。バスの中で説明を聞くような場合もありました。



お父さんの顔を写生する園児

秋分の日 9月23日



【おしらせ】

三種混合予防接種は

9月28日・29日

ジフテリア・百日咳・破傷風三種混合の予防接種を行います。対象になっているお子さんは必ず受けてください。本年度から使用する三種混合ワクチンは新開発のもので、ほとんど副作用はありませんので、安心して接種を受けてください。

今回は一回目で、二回目は十月

に、三回目は十一月に予定しています。

▽日程

9月28日 五城目・面湯地区

9月29日 馬場目・内川地区

富津内・大川地区

▽受付時間 午後一時～二時

▽場所 広域体育館予備室

▽対象者

・昭和五十三年九月一日から昭和五十四年八月三十一日までの出生者

・昭和五十二年九月一日から昭和五十三年八月三十一日までの出生者で、一回接種または未接種者

▽注意事項

・問診票用紙は必ず記載し、母子健康手帳といっしょに持参する
・当日、お子さんの体温を測定し健康状態を確かめておく
・お子さんの健康状態に不安がある場合は、保健衛生課へ電話で問合せ

9月28日

献血をお願いします

九月二十八日午前九時半から、献血車が町内五カ所を巡回して献血を呼びかけますので、ご協力をお願いします。

献血は満十六歳から六十四歳までの人ならだれでもできます。一回の採血量は二百ミリリットルです。この量は身体全体の全血液の約二十分の一で、健康には影響ありません。また、採血前に医師が検診を行います。

献血車の巡回場所と時間は次のとおりです。

▽役場前

午前九時三十分～十時三十分

▽農協前

午前十一時～十一時四十分

▽エート電機(株)前

午後一時～一時四十分

▽電々公社前

午後二時～二時三十分

▽宮林署前

午後二時五十分～三時三十分

※献血手帳を持っている方は、当日持参してください。

技能検定

受付は10月8日から

秋田県職業能力開発協会と各地区の技能センター、職業訓練校では、五十六年度後期技能検定の受検申込みを十月八日から二十七日まで受け付けます。

この技能検定は、技能の程度を一定の基準によって検査し、それを公に証明する国家検定で、三十二職種、三十九作業について行われます。

手続きや受検資格など、詳しい内容については、次のところに問合せください。

▽秋田県庁職業訓練課

電話0188-6011733

▽秋田県職業能力開発協会

電話0188-6213510

(検定職種)

農業機械整備、婦人子供既製服製造、和裁、寝具製作、石材加工、菓子製造、みそ製造、酒造、建築大工、配管、鉄筋組立て、防水、型わく施工、ガラス、建築製図、電気製図、構造物現図製作等

消防設備士の講習会

消防設備士試験のための講習会が、十月十三日から十六日まで、秋田県正庁で行われます。

受講希望者は、九月十六日から二十九日までに、秋田県消防防災課内秋田県消防設備保守協会に受講申請書を提出してください。受講申請書など詳しい内容は消防署(電話212028)にお問い合せください。

▽講習日および講習の内容

十月十三日 乙種六類
十四日 乙種七類
十五日 甲・乙種一類
十六日 甲・乙種四類

婦人会の貸衣装

五城目町婦人会では、貸衣装の料金を一部値下げして、利用者の便宜をはかっています。

・留袖 三千円～六千円

・紋付一式 一万円

・モーニング 千円

・喪服 二千円

▽連絡先

羽場早苗 電話213119
加賀谷テル子 電話214854

伝言板

忘れもの

九月九日敬老式に参加された方で、次の忘れものがありましたので、お心あたりの方は住民課窓口までおいでの上お受け取りください。

一、信玄袋

(黒色、サイフ、チリ紙等)

一、記念品

善意銀行

八月十一日

千六百円 仲町商店会

(歩行者天国におけるジャンケン大会時の収益金を寄付したものの)

八月二十日

三万円 富田 阿部 金一

(亡父金治様の香典返しとして)

八月二十四日

十万円 樋口 猿田 俊雄

(亡父俊蔵様の香典返しとして)

八月二十五日

三万円 上山内 大石 芳蔵

(亡妻ヨシ様の香典返しとして)

八月二十五日

四万円 高崎 匿 名

(年金の一部を寄付したものの)

おわび

広報九月一日号の「善意」で、雀籠児童館に寄贈・座布団四十枚、陶器(食器類)、衣料品の記事に「匿名」の文字がおちていました。おわびいたします。